

幹事会開催報告について

1. 幹事会等開催報告

- ✓ 令和2年度は幹事会を1回開催し、雲仙岳火山防災対策について議論を行った。

第1回幹事会

令和3年1月15日 TV会議によるオンライン開催

1. 雲仙岳の火山活動状況
2. 令和元年度からの取組説明及び今後の予定について
3. 雲仙岳火山防災計画の修正案について
4. 火山災害時の避難促進施設の追加指定と避難場所の変更について
5. 溶岩ドーム崩壊ソフト対策検討委員会の雲仙岳火山防災協議会への移行について

2. 幹事会協議事項について

- ✓ 幹事会では主に以下の事項について協議を行った

幹事会における主な協議事項

1. 溶岩ドーム崩壊ソフト対策検討委員会の雲仙岳火山防災協議会への移行について
→資料4-1～4-3参照
2. 雲仙岳火山防災計画の修正案について
→資料5-1～5-3参照
3. 火山災害時の避難促進施設の追加指定と避難場所の変更について
→資料6-1参照

3. 幹事会での意見

- ✓ 雲仙温泉街やその周辺地区では、亀裂地帯が活発で亀裂より高温の水蒸気が噴出しており、過去には工事現場で水蒸気による死亡事故も発生しているため、雲仙温泉街やその周辺地区の防災対策も協議会で進める必要があるのではないか。
- ✓ 火山防災計画における、避難促進施設に対して避難対象となる火山現象を『噴石、溶岩流、火砕流、火砕サージ』の4つで区分しているが、気象庁から発表される噴火警報には火砕サージを単独で発表することなく、火砕流に火砕サージも含むという解釈となる。したがって、噴石、溶岩流、火砕流（火砕サージも含む）と3つの区分に改めるべきである。
- ✓ 今後協議会で溶岩ドーム崩壊対策を検討するとのことであるが、眉山も溶岩ドームであるため、眉山崩壊対策についても協議会で進める必要があるのではないか。

4. 令和3年度の重点取組事項（案）

- 1 平成新山溶岩ドーム崩壊に備えた各種諸対策の推進
- 2 眉山崩壊に備えた各種諸対策の推進
- 3 雲仙温泉街付近における火山現象による防災対策の推進
- 4 退避壕整備計画の推進